

# 2017・2018年度 経済学部海外プログラム参加者アンケート

## プログラム：大連外国語大学プログラム（長期・夏期出発）

参加者数： 1名（2017年8月下旬～2018年7月上旬）  
2名（2018年2月下旬～2018年7月下旬）  
1名（2018年9月上旬～2019年1月上旬）  
＜内訳＞ 国際経済学科 2回生…3名、 3回生…1名

- ※ 複数回答可の項目有り
- ※ 回答漏れ有り
- ※ ＜ ＞内の数字は回答数

## 1. 応募まで

1) 募集説明会に参加しましたか

はい ＜4＞ いいえ ＜0＞

2) 本プログラムへの応募動機は何ですか

派遣国 ＜2＞ 学習言語 ＜4＞ プログラム内容 ＜0＞

参加費用 ＜2＞ 実施時期・期間 ＜1＞ 体験談・口コミ ＜0＞

その他 ＜0＞

## 2. 事前学習

1) 事前に学習しておいて役立ったこと

- ・ 自己紹介や、日常でよく使うような中国語の表現を学習しておく、最初のコミュニケーションが取りやすいと思う
- ・ 日常会話に用いられるフレーズ
- ・ 留学先の情勢について
- ・ 中国語
- ・ 資格の勉強をしていれば基本的な能力がつくので、基礎を固めて留学することでより授業の質が上がると感じた。また、英語が話せるとより多くの交流関係が築けるので、中国語と両立して勉強しておくこともオススメする。

2) 事前に学習しておけば良かったと思うこと

- ・ 派遣国・現地のマナー、文化についてもう少しよく知ってから行けば良かったと思う
- ・ 留学先の文化、風習について
- ・ 世界史
- ・ 文法についてより細かく勉強しておけば良かった。授業でも文法の授業があるが、全て中国語で説明されるので、細かいことまで理解できないことが多々あった。

## 3. 渡航前・渡航後の手続き

1) 中国入国・滞在にあたり、いつ、どのような手続きが必要でしたか（ビザ、滞在許可申請など）

- ・ パスポート取得（持っていない場合）、ビザの申請が必要。期限に関係なく早めに済ましておく方が良い。
- ・ ビザ申請受領、滞在許可申請受領、海外保険申請など
- ・ 渡航の1ヶ月前までにビザの取得をしよう
- ・ ビザ申請は自分でやることもできるが、手間がかかるので業者にお問い合わせすると簡単に申請できるので、そちらをオススメする。

2) 授業開始までに実施されるガイダンス、入寮手続き、クラス分けテスト等についてアドバイスはありますか

- ・ 入寮手続きは、学校に着いてすぐに連れて行ってもらえるので心配いらない。ただし、すぐに料金を払わなければいけないので中国元に両替したものを多めに持って行くと良い。クラス分けテストは後からクラス変更も可能なので、あまり深く考えずにリラックスして受けましょう。
- ・ 入寮手続きについては、事前に両替する必要あり。クラス分けテストの対策は資格の対策をしていれば特に問題はないと思う。
- ・ 早めに入国しガイダンスや入寮手続きを授業開始前に済ませ、余裕をもって授業の準備に取りかかるべき。クラス分けテストについては、日本でできる限り学習しレベルの高いクラスに入るべき。
- ・ 6人部屋がオススメ

#### 4. 現地での講義

1) 中国語の授業について

①クラス名

【1学期目】	【2学期目】
中級 B1	1 学期間留学のため、なし
中級 C1	1 学期間留学のため、なし
中級 C	中級 A

②授業のレベル

【1学期目】	【2学期目】
適当	—
少し難しかった	—
適当	適当

③クラスの規模

【1学期目】		【2学期目】	
20 人 (適当)	韓国 7、ロシア 6、アルベニア 1、フランス 1、イギリス 1、日本 4	—	—
19 人 (適当)	韓国 5、ロシア 1、イタリア 5、オランダ 1、ナイジェリア 1、モンゴル 1、タジキスタン 2、日本 3	—	—
20 人 (多い)	韓国、中央アジア諸国、ロシア、イタリア、日本など	25 人 (多い)	韓国、中央アジア諸国、ロシア、メキシコ、日本など

④講義内容、使用教材、テストについて

- ・ 1 科目につき 1 冊の教科書。リスニングの教科書はスクリプト付き。
- ・ 口語、精読、閲読、聴力
- ・ 少し難しいが、勉強すればついていけた
- ・ シラバス通り、北京外国語大学出版のもの

⑤担当教員について

- ・ 各科目 1 人ずつ専門の先生が付く
- ・ 優しい
- ・ とても面倒見が良い先生だった
- ・ 非常に真面目で丁寧に授業を行う

## ⑥その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ クラスは一番の交流の場になるので、自分に合うクラスをきちんと選ぶと良い。先生方はどのクラスも丁寧に優しく、熱心な方ばかり。
- ・ 予習をしっかりすること！
- ・ クラス分けテストでできるだけ高いレベルのクラスに入るように準備しておくべき。人数の多いクラスで受講すると発言の機会が必然的に少なくなるので、積極的な授業参加のためにも人数の少ないクラスをオススメする。

## 2) 中国語以外の科目の授業について

### ①中国語以外の科目を受講しましたか

はい <2>      いいえ <2>

### ②科目名

英語 <2>

### ③内容・感想

- ・ 授業内容はかなり難しい。ディクテーションがメインの授業になる。学生のレベルと先生が求めているレベルが合っていないように感じた。
- ・ リスニング・スピーキングを主に学習する科目。日本人以外はある程度の英語力を持っているので、そういった学生達と学習することは非常に良い経験となった。

### ④コメント、次年度参加者へのアドバイス等

- ・ 英語は外国人と交流する上で必須なものになってくるので、中国に留学するからといって英語を疎かにするのではなく、両方ともバランス良く学び、ある程度のレベルを有することが望ましい。

## 5. 現地の環境

### 1) キャンパスについて

#### ①教室、その他の設備

- ・ 教室は明るく綺麗で、黒板もスクリーンもあり勉強しやすい環境が整っている。ただ日本のようにエアコンが充実していないので、窓際に中国特有の暖房器具があるのだが、少し温まりにくいのと、乾燥しやすいのが気になった。
- ・ 教室自体は広くなく空調設備もない。主にスクリーンを使い授業を行うので、理解はし易い。
- ・ 比較的きれいだった

#### ②キャンパス、寮周辺の環境

- ・ キャンパスはとても広く、食堂、スーパー、カフェ、図書館、グラウンド、体育館など、生活に必要な設備は基本的に学校内に揃っている。学校から出て少し歩くとジムやカフェが並んでいる通りもある。学校の周辺にはごはん屋さんが沢山並んでいるので、食事にはあまり困らなかった。
- ・ キャンパスは非常に広大で緑も多い。キャンパス内にスーパーマーケットや雑貨屋、書店なども数多くあり、キャンパス内だけで生活することが可能。
- ・ キャンパス内で生活するために必要なものは全て揃った
- ・ カフェ、レストラン、ジム、ピリヤード場など有り

### 2) 寮について

#### ①自分の部屋（家具、間取りなど）

- ・ 私は6人部屋に住んでいたのだが、家のような形の寮の中に、2人ずつの部屋が3部屋あった。各部屋によって広さは少し違うが、入寮時に学校側が決めてその部屋の鍵を渡されるので自分で選べるわけではなかった。家具はベッド、ベッド横に小さな棚、デスク、服を入れるタンスがあった。

- ・ 6人部屋。リビング、キッチンその他に3部屋あり、1部屋2人で使用する。リビングにはソファ、テレビ、ダイニングセットなどがあり便利。
- ・ 勉強に集中することができる部屋だった。収納場所も十分にあった。

#### ②共有部分（どんな設備が使用できるか）

- ・ リビング・ダイニング・キッチン・お風呂・洗面所・トイレ・ベランダは共有。お風呂・トイレ・洗面所は一緒になっており、6人部屋に2つあった。向かいの寮の地下に共用の洗濯機が置いてあるので、そこで洗濯をしてベランダに干した。
- ・ キッチン有り。キッチン器具は用意する必要あり。
- ・ 6人部屋の場合、キッチンがあり自炊できた。また、リビングはとても広く大きなテレビもあり、設備は充実していた。
- ・ シャワー室は2つある

#### ③ルームメイト（人数、国籍等）

- ・ 私を含め日本人が4人、キルギスタン人が1人、エチオピア人が1人だった。国籍の内訳も学校側が決めるので、実際に行ってみないとわからない。
- ・ モンゴル、タジキスタン、ウズベキスタン
- ・ ルームメイトは中国人が1人、モンゴル人が1人、日本人が1人、イスラム系の人が2人いた。私の場合はみんなと仲良くできたが、耐えられない場合はすぐに部屋を変えてもらうことができる。
- ・ 日本、韓国、キューバ、ロシア、カメルーン

#### ④インターネット環境

あり <4> → 自室から可能 <4> → 有料 <4> 無料 <0>

なし <0>

#### ⑤その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 寮も、クラスと同じくらい交流の場になるので、私は6人部屋がオススメ。仲良くなりお互いの国の料理を作って食べ合ったりもした。積極的にコミュニケーションを取ってみると良いと思う。
- ・ シャワーは争奪戦になる
- ・ 中国語に自信があってもなくても、最初は6人部屋を薦める。できるだけ知り合いを多く作り、中国語を話す機会を作りやすい環境に身を置くべき。

### 3) 生活について

#### ①食事は主にどうしていましたか

- ・ 学校内の食堂やお店で食べるか、学校の外の「海鮮街」という所の飲食店で食べていた
- ・ 主にキャンパス内にある店で購入し食事をとっていた。自炊は全くしなかった。
- ・ 出前を頼んだ
- ・ キャンパス内の食堂で食べるか、周辺にあるレストランで食事することができる

#### ②食品・生活用品の買い物はどこでしたか

- ・ 学校内のスーパーが安く買えるし品揃えも良かったので、基本的にそこで揃えた。学校からタクシーにて15分程度で行けるウォールマートというスーパーも安く品揃えが良かったのでそこも利用すると良い。
- ・ キャンパス内にあるスーパーマーケットや生活用品店を利用するか、大学外にある近所のスーパーマーケットなどを利用した。
- ・ 大学前のコンビニを利用した
- ・ キャンパス内にあるお店で全て揃えることができた

### ③授業以外での現地の人・外国人との交流の機会

あり <4>

- ・ 日本語学科の学生、日本語コーナーという現地の学生との交流会
- ・ ルームメイトやクラスメイトとの食事
- ・ 買い物、ビリヤード場、バーなどで日常会話
- ・ 一緒に勉強したりごはんを食べたりした

なし <0>

### ④休日・授業終了後はどうやって過ごしましたか

- ・ 授業終了後は課題をしたり、友達と話しながら勉強したり、ジムに行ったりカフェに行ったりした。日本にいる友達と電話するのも楽しみだった。休日は学校から出ているバスに乗って市内に出掛けて遊んだり買い物をしたりすることが多かった。
- ・ 図書館やキャンパス周辺にあるカフェで勉強することができる。娯楽についてはビリヤードやカラオケがある。市内に行くとデパートがあるのでショッピングも楽しむことができる。
- ・ 旅行した
- ・ 主に外国人留学生や現地の中国人学生と一緒に相互学習したり、スポーツサークルに参加して交流をして過ごしたりした

### ⑤その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 大連や、学校周辺はとても過ごしやすい環境なので心配いらないと思う。また、日本人と交流したいと思って下さっている中国人の学生の方は沢山いるので、積極的に交流してください。
- ・ せっかくなので中国国内を旅行しよう
- ・ 時間にはある程度余裕があるので、外国人や中国人と積極的に交流し、留学先でしかできない経験をすべき

## 6. プログラム参加前後の変化

### 1) 中国語力

特に向上したと思う技能： Speaking<3> Listening<2> Writing<1> Reading<0>

やや向上したと思う技能： Speaking<1> Listening<2> Writing<1> Reading<2>

あまり向上しなかった技能： Speaking<0> Listening<0> Writing<1> Reading<1>

### 2) 語学面以外で変化したこと

- ・ 日本ではありえないような生活面でのトラブルが起こることもあり、基本的には自分1人で解決しなければならないので、私はとても自分自身が自立したなと感じる。また、外国人の方とお話しする機会が増えるので、コミュニケーション能力もついたかなと思う。
- ・ 精神的に強くなった。様々な人種の学生と交流し触れ合うことで、様々な価値観への理解が深まり、適応力もさらに増した
- ・ 人付き合いがうまくなった
- ・ クラス内ではお互い母国語が異なり、共に中国語を勉強しているため、自分の言いたいことをどのように伝えるか考え、切磋琢磨することでコミュニケーション能力を培うことができた。また、日本とは全く異なる土地で生活することで精神的にも成長できたと思う。

## 7. 費用・持ち物・その他

### 1) 費用について

①1ヶ月の生活費はどのくらいですか

日本円 約2.5万円相当 <1> 約4万円相当 <3>

## ②寮費・生活費はどうやって持って行きましたか。海外送金・国際キャッシュカードなどを利用しましたか。

- ・ 基本的にカードは使わず、現金で生活した。三菱 UFJ 銀行のキャッシュカードは中国でも使用でき、日本円で入金したものを中国元で引き出すことができる。
- ・ 国際キャッシュカードを利用した
- ・ SMBC DEBIT カードを利用した
- ・ 全て現金で持って行った。足りなくなった場合、親に送金してもらった。

## ③お金・両替についてのアドバイス

- ・ 両替は現地のレートの方が良いので、寮費以外は中国に着いてから両替した方が良いと思う。中国はスマホ決済が進んでおり、現金が使えないお店もあるので、中国で口座を作ってスマホ決済ができるようにしておくと思う。
- ・ 両替は大学からタクシーで15分程離れた、旅順にある銀行ですることができる
- ・ 中国現地で口座を開設すれば、We chat pay やアリペイ（支付宝）を利用でき便利

## 2) 持ち物について

### ①持って行った方が良いもの

- ・ 基本的には現地でも調達できるが、肌が弱い人やこだわりがある人はスキンケア用品や肌に直接つける物は持って行った方が良いと思う。常備薬もあれば安心。お味噌汁やのど飴なども持って行って良かった。
- ・ 洋服
- ・ 本、単語集
- ・ パソコン
- ・ SIM フリー端末
- ・ 常備薬
- ・ どん兵衛

### ②持って行かなくて良いもの

- ・ こだわりがなければシャンプー・コンディショナー、ボディソープは現地でもかなり種類があり、日本で売っている物と大差はない。液体は重くなるのでなるべく現地調達が好ましいと思う。生理用品も日本製の物が現地で売っている。
- ・ 生活用品
- ・ ドライヤー
- ・ ほぼ中国で購入可能なので、自身が本当に持って行きたいと思うもの以外は持って行かなくても良い

## 3) 治安、注意すべき点

- ・ 私が特に注意していたのは、違法タクシーには絶対に乗らないこと。実際日本人学生が違法タクシーに乗って交通事故に遭っていたことがあったので、気をつけて下さい。大連外国語大学は比較的田舎なので特別危ないとは思わないが、念の為夜遅くに1人では出掛けず、誰かと2人以上で出掛けた方が良い。野良犬も多いので注意が必要。
- ・ 油断するとすぐにスリに遭ってしまうので、貴重品の管理は厳重にしておいた方が良い
- ・ 野犬に注意
- ・ 深夜や繁華街では引ったくりや置き引きなどに気をつける

## 4) その他次年度参加者へのアドバイス

- ・ 基本的には現地調達が可能で、途中で日本から送ってもらうこともできるので、なるべく少ない荷物で行った方が良い。
- ・ 有意義に留学生活を過ごすべき
- ・ 意外とお金を使うので気をつけて

## 8. プログラムを総合的にみて

### 1) 次年度参加者へのアドバイス

- ・ 大連外国語大学は、中国語を学ぶ環境、外国人との交流、寮や食事など、様々な面でかなり整っており生活しやすいと思う。不安も沢山あると思うが、安心して楽しい留学生活を送ることができると思うので、頑張ってください！！